



岩保育園の鬼面づくり

菊池

題字／菊池北小学校6年 中村 斗真 さん

議会だより

Contents

令和3年 第2回臨時会審議結果	2
令和3年 第4回定例会審議結果	3
令和4年 第1回臨時会審議結果	3
委員会報告	4~7
12人が市政を問う!	8~13
トピックス 節分 特集	16

この臨時会では、専決処分の報告及び承認を求めるとをはじめ、令和3年度菊池市一般会計補正予算など7議案が提案されたほか、報告が3件あり、審議の結果、原案のとおり可決・承認しました

開催日：11月12日（金）

主なものは以下のとおりです。

令和3年第2回臨時会における主な付議事件一覧及び審議結果表

※ 賛否の分かれた議案のみを掲載しています。

議案番号	議案名	結果
議案第91号	菊池市一般職の職員の給与に関する条例及び菊池市一般職の任期付職員の採用等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
議案第93号	令和3年度菊池市一般会計補正予算(第10号)	原案可決
議案第94号	令和3年度菊池市介護保険事業特別会計補正予算(第2号)	原案可決
議案第95号	令和3年度菊池市水道事業会計補正予算(第2号)	原案可決
議案第96号	令和3年度菊池市下水道事業会計補正予算(第2号)	原案可決

賛否表

○は賛成 ●は反対 棄は棄権 欠は欠席 除は除斥 /は議長職時

※ 下記以外の議案は、全会一致で可決しました。

議案	議席番号		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
	結果	表決数 賛成 反対	田中教之	福島英徳	緒方哲郎	後藤英夫	平直樹	東奈津子	坂本道博	水の上隆光	猿渡美智子	松岡譲	荒木崇之	柁原賢一	工藤圭一郎	城賀典臣	大賀慶一	水の上彰澄	二ノ文伸元	泉田栄朗	木下雄二	山瀬義也
			結果	賛成	反対																	
議案第91号	可決	18対1	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○
議案第93号	可決	18対1	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○
議案第94号	可決	18対1	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○
議案第95号	可決	18対1	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○
議案第96号	可決	18対1	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○

※ 除斥：議案と一定の利害関係を持つ議員は、当該議案の審議・採決に参加することができない。

議会をインターネットで!

傍聴においでいただけない場合でも、いつでもインターネットで本会議の録画映像をご覧いただけます。菊池市のホームページより菊池市議会をクリックし、議会中継をクリックしていただくと会議録画映像を見ることができます。

使い方の説明も掲載していますのでご参照ください。

議会事務局/TEL 25-2325

菊池市議会 議会映像 検索



菊池市議会HP
議会中継

この定例会では、令和3年度菊池市一般会計補正予算、条例の制定など43議案が提案されたほか、請願2件、議員提出議案1件があり、慎重に審議しました。
審議の結果、議員提出議案第5号を除き、原案のとおり可決・採択しました。

開催日：11月26日（金）～12月21日（火）

主なものは以下のとおりです。

令和3年第4回定例会における主な付議事件一覧及び審議結果表

※ 賛否の分かれた議案のみを掲載しています。

議案番号	議案名	結果
議案第125号	令和3年度菊池市一般会計補正予算(第13号) (P4～7に予算決算常任委員会での審査内容の一部を掲載しています)	原案可決
議案第133号	公の施設の指定管理者の指定について(菊池市営住宅) (P5に審査内容の一部を掲載しています)	原案可決
議員提出議案第5号	菊池市議会議員定数条例の一部を改正する条例の制定について (菊池市議会議員の定数を現行の20人から18人に改めるもの)	原案否決

賛否表

○は賛成 ●は反対 棄は棄権 欠は欠席 除は除斥 /は議長職時

※ 下記以外の議案は、全会一致で可決しました。

議案	結果	議席番号 表決数 賛成 反対	議席番号																			
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
			田中教之	福島英徳	緒方哲郎	後藤英夫	平直樹	東奈津子	坂本道博	水上隆光	猿渡美智子	松岡讓	荒木崇之	柁原賢一	工藤圭一郎	城典臣	大賀慶一	水上彰澄	二ノ文伸元	泉栄朗	木下雄二	山瀬義也
議案第125号	可決	18対1	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	
議案第133号	可決	15対4	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	●	○	●	○
議員提出議案第5号	否決	4対15	●	○	●	●	●	●	●	●	●	●	○	●	●	●	/	●	○	●	○	●

※ 除斥：議案と一定の利害関係を持つ議員は、当該議案の審議・採決に参加することができない。

この臨時会では、令和3年度菊池市一般会計補正予算の1議案が提案され、審議の結果、原案のとおり可決しました。

開催日：1月21日（金）

補正予算の主な内容は、新型コロナウイルス感染症の影響が長期化する中、さまざまな困難に直面した方々が速やかに生活や暮らしの支援を受けられるよう、住民税非課税世帯等に対し1世帯あたり10万円の現金を給付する「新型コロナウイルス感染症対策事業」、コロナ克服・新時代開拓のための経済対策としての「保育士等処遇改善臨時特例事業」等、予算を10億1,804万5千円増額するもの。

委員会報告

総務文教常任委員会

委員長／平直樹 副委員長／緒方哲郎
委員／福島英徳 猿渡美智子 柁原賢一
水上彰澄 木下雄二

可決 辺地総合整備計画の変更について

内容 12か所のうち2か所の辺地について、公共的施設の整備内容の変更、及び追加による変更を行うものであり、地域住民の道路環境の改善を図るとともに、安全な車両通行を確保するために整備するもの。



質問 充当率は、以前と比べてどうか。

答弁 以前と変わらず100%である。

意見 有効な事業であり、特に条件の悪い中山間地へ計画的に道路事業を行うことは、市の活性化につながる。

福祉厚生常任委員会

委員長／坂本道博 副委員長／田中教之
委員／東奈津子 水上隆光 荒木崇之
城典臣

採択 「吃音のある園児に対する支援体制の確立」に関する請願

内容 障害者差別解消法には、「吃音」も対象として含まれているが、正しい理解を持つ保育士は少なく、吃音当事者の生活・活動・学習環境が未整備で、同世代の園児に正しく理解されないまま、園生活では好奇の対象として見られることを余儀なくされている。こうしたことから、教職員に対して、「吃音」への正しい理解と対応・対処ができるよう、市内の全幼稚園・保育園における保育士への研修を導入するよう請願するもの。

意見 以前、吃音のある児童・生徒に対する支援体制の確立について、教職員への研修の導入を求める請願があった。今回の請願は、子育て支援課が周知し、保育士研修の力リキュラムに入れていただき、吃音のある園児がきつい思いをしないよう、議会としても取り組まなければならない。

経済建設常任委員会

委員長／後藤英夫 副委員長／泉田栄一朗
委員／松岡讓 工藤圭一郎 二ノ文伸元
山瀬義也

採択 菊池市商工会館移転に関する請願

内容 菊池市商工会は、熊本地震で被災した商工会館から現肥後銀行菊池支店を買収のうえ移転することとしており、街なかへの移転は中心市街地活性化の核と成り得るものであり、地域経済の創出にもつながるものであることから、次のことについて請願がありました。



菊池市商工会から市議会への請願

- ① 移転先の改修費用にかかる助成
- ② 移転後の商工会館跡地の買収
- ③ 中心市街地(限府地区)における回遊性に
ぎわい創出に資する事業の早期着手

質問 中心市街地における回遊性・にぎわい創出に資する事業の早期着手と請願されているが、市にどのようなことを望まれているのか。

請願者 築地井手は温泉街の方から来ており、一部区域において築地井手をオープン化し復活させることや、景観に見合った建物等も残っていることから、街歩きや歴史探索等の新しい中心市街地活性化策を望んでいる。

反対討論 菊池市商工会が今すべきことは、会館移転ではなく、中小零細企業の方々が今困っているのを助けるべきではないのか。

賛成討論 農業と商工業が一緒になって成長し、市が成り立っていく核となる会館であることから、市がきつなくても手助けをしていくことが当然だと考える。

可決
公の施設の指定管理者の
指定について(菊池市営住宅)

内容 菊池市営住宅、菊池市特定公共賃貸住宅、菊池市旧雇用促進住宅七城宿舍駐車場及びその他附帯施設について、菊池市営住宅管理共同企業体を指定し、その期間は令和4年4月1日から令和9年3月31日までの5年間とするもの。



市営袈裟尾団地



市営田島団地

質問 指定管理者に指定しようとしている団体の住所は、熊本市中央区辛島町となっているが、どういった会社か。

答弁 一般社団法人熊本県賃貸住宅経営者協会、日本管財(株)、(株)三牧建設工業の3社の共同企業体であり、いずれの会社も宅地建物取引業の資格を有している。

質問 選定した企業体の出資比率は、熊本県賃貸住宅経営者協会が50%、日本管財が40%、三牧建設工業が10%だが、この企業体は、菊池市内の業者と言えるのか。

答弁 平成27年5月の議会月例会において、市内業者と市外業者の共同企業体は市内業者扱いとすると報告した運用指針に基づいて、適正に審査を行っている。

意見 市外業者を含む市内業者にも市内業

者単独と同一の加点ではなく、差を付けるべきではないか。

意見 出資比率は問わないとなっているが、100分の5の加点に出資比率を掛ける等、考慮すべきではないか。

意見 執行部が平成27年に運用指針の説明を行ったとはいえ、5年も経ち、ルールの見直しが必要だったのではないか。

反対討論 地場産業育成の観点から、地元業者をなるべく選定するよう議論してきたが、選定業者は、地元業者の出資割合が10%しかなく、住所も熊本市中央区となっていることから、到底、地場産業育成とは考えられない。

賛成討論 入居者・住人に不利益が無いよう第一に考えて進められてきた。反対意見もあったが、課題はこれから改善できる部分は改善し、初めての事業でもあるので、まずは本委員会として、住人が困ったりすることが無いよう、行政と一緒に不都合が生じていないか等、見守っていく必要がある。

予算決算常任委員会
(分科会を含む主な審議内容)

委員長／松岡 謙
副委員長／城 典臣
分科会長／

(総務文教) 平直樹
(福祉厚生) 坂本 道博
(経済建設) 後藤 英夫
委員／議長を除く14名



可決
令和3年度一般
会計補正予算(第13号)

交通コミュニティ対策事業
1120万8千円

内容 利用者の減少による運賃収入の減、
運行経費の増加、国県補助の減等による産交
バスへの運行補助金を増額するもの。

質問 関係する自治体ごとの補助金の負担
はどうかっているのか。

答弁 各自治体の負担割合は、各路線の延
長を自治体ごとの距離で案分し、補助金額を
算出している。

ふるさと納税促進事業 6500万円

内容 当初見込んでいたふるさと納税の寄
附額1億3500万円に対し、今年度末の寄
附額が2億円の見込みとなったことにより、
経費としての委託料、及び基金への積立金を
増額するもの。

質問 返礼品の割合は何割なのか。

答弁 寄附額の3割以内である。

質問 寄附額が増えれば委託業者の収入も
増える仕組みとなっているのか。

答弁 寄附額が増えれば委託料も増えるこ
とになる。



菊池市のふるさと納税返礼品の一例

指定ごみ袋作製業務(債務負担行為補正)

内容 年間を通じて業務を委託する必要が
あるため、債務負担行為を設定するもの。

質問 不燃物用指定ごみ袋の極小は、作製
することになったのか。

答弁 令和4年度当初予算に計上し、議決
されれば作製する予定である。

障がい児通所給付費等支援事業
4662万4千円

内容 介護給付事業費(児童)の利用実績
見込みにより、増額するもの。

質問 事業費の増額は、放課後等デイサー
ビスの新規の利用者が増えたことによるもの
か、これまでの利用者の一人当たりの利用料
が増えたものなのか。

答弁 新規利用者の把握はできていない
が、利用者・利用料ともに毎年増えている。
市内に事業所が増え、利用しやすい環境に
なったことも利用者や利用料が増えている要
因と考えている。

宝永隧道内水対策事業（繰越明許費補正）

内容 赤星地区の内水対策事業として大型発電機2台を購入する計画であるが、受注生産となっていることから、4～5か月の期間を要し、年度内の納品が困難であるために、繰越明許費の設定を行うもの。

質問 繰越の理由は理解できるが、少しでも工期を短くすることはできるのか。

答弁 適正な納品期間をとるために繰越明許費の設定を行うものであり、極力、次の梅雨までには間に合うよう努力していきたい。

可決
令和3年度下水道事業
会計補正予算（第3号）

**国道325号汚水幹線布設替事業
（継続費補正）**

内容 工事請負費1億810万円を令和3年度の年割額、2億2000万円を令和4年度の年割額とし、総額3億2810万円の継続事業として補正するもの。

質問 施工延長が600mしかないのに、3億2810万円は高いのではないか。

答弁 口径が1100mmの管を埋設するため、掘削断面が大きくなり、土量も通常の下水道工事からすると5～6倍に増え、管の製品代も高くなるためである。

質問 この事業の歳入面はどうなっているのか。

答弁 3億2810万円に対し、県からの補償金が1億6000万円、残りの全額が下水道事業債となっている。

**新型コロナウイルス感染症
対策事業に関する提言**

3回目のワクチン接種について

① 前回の反省を踏まえ、自治体の状況を参考にし、スムーズなワクチン接種の予約体制を整えること。

② 3回目のワクチン接種について、市民へ情報を提供すること。

みなさんの大切な人を一緒に守ろう。



くっつかないモン
#KeepDistance



手を洗うモン
#WashHands



換気をするモン
#OpenWindow

Q マイナポイント事業 第2弾について

A 住民が混乱することがないように体制を整えたい。



泉田 栄一郎 議員



Q 街路樹は緑化や潤いなど都市景観の

市の街路樹について

A 第2弾の詳細が明らかでないため、今後、国の方針及び実施の内容により、必要な対応を取っていく。住民が混乱することがないように体制を整えたい。

Q マイナカード保有者、新規取得者に最大2万円分のポイントが付与される。申請開始時には、希望者が窓口で殺到すると予想されるため、特設窓口を設置しサポート体制を作る考えがあるか。

重要な要素で市の顔とも言えるが、年々維持管理費がかさむため、整備優先度を評価する現状把握調査を行い、街路樹管理計画を作成する考えがあるか。

A 街路樹の植え替えや管理計画は、景観や環境への配慮、あるいは歩行者の安全等を考慮するとともに、植え替えには多額の費用がかかるため、専門家の意見等を伺いながら、将来の街路樹の管理については、長期的なテーマとして検討したい。

その他の質問

- ・コロナワクチン接種済証明書について

Q 隈府中心地の住宅整備について

A 地域に合った財政的にも効率的で効果的な手法を考えていきたい。



平 直樹 議員



Q コンパクトシティを目指す上でも菊陽町定住促進補助金要項を参考に立地適正化計画を力強く推進する考えはないか。

A 菊陽町の取り組みも参考にしながら、費用対効果等も含め、調査、研究をしていきたい。

Q 住宅整備をすることで活気や子どもたちの声に戻ってくることを考える。

政治が大きく方向性を示すべき。市長はどう考えるか。

A かなりの財政負担も伴うと思うので、都市計画マスタープランをはじめ、各種計画との整合性、市内全体でのバランスも考慮しながら、民間の資金を活用する方法も含め、本地域に合った財政的にも効率的で効果的な手法を考えていきたい。

Q 市内の小規模事業所応援商品券について

A 飲食店を含む市内のあらゆる事業所で使えるプレミアム付き商品券を作り、コロナ禍における経済対策をする考えは。

A まずは国の経済対策をよく踏まえて、よく考えた上で、市内の消費活性化につながる適切な経済支援ができるよう検討していきたい。

Q 本市の修繕工事等の『見える化』について

A 要望された区長へ今後の対応予定を文書で回答する。



後藤 英夫 議員

Q 各区長からの修繕工事等の要望書の取り扱いは、口頭対応ではなく事務処理の『見える化』に取り組むべきではないか。

A 今後の対応予定を文書で回答を行い、区民の皆様へ周知していただくようお願いしていきたい。

あか牛の消費拡大について

Q 地理的表示保護制度『GI』に登録された地元産『あか牛』の消費拡大に向けた市の考えは。

A あか牛も熊本ブランド牛として、関係機関と連携し消費者へのPRを検討したい。



肥後のあか牛



菊之城(きくのじょう)跡

その他の質問

- ・本市の交通安全対策について

菊之城跡について

Q 深川地区の菊之城跡周辺は、中世の武士の発生から発展する過程を実証できる貴重な史跡だが、市民への周知等、今後の予定や公園化への考えは。

A 令和4年度に国へ意見具申し、国指定後は、史跡の価値を損なわないよう、市民一体となった歴史を活かしたまちづくりを目指し、保存整備管理計画を策定し、国、県等と協議を進めたい。
また、郷土の歴史を知り、愛着をもってもらえるようソフト面における取り組みも行いたい。

Q 市道亘甲森1号線について

A 現在、道路改良計画に基づき用地交渉を進めている。



田中 教之 議員

Q 今橋から片角へ延伸した市道亘甲森1号線について、限府中央線との接続を期待している。仮に接続した際の効果はどのようなものがあるか。

A 片角区内の市道を通る車両が減り、渋滞が緩和され、歩道の無い通学路の安全対策が図られるほか、国道325号から市内へのアクセスがよくなることにより、住民の利便性の向上、並びに人口の流入、交通の流入等による、市内の活性化につながっていくものと考えている。



片角区内の先を見通せないS字カーブ

マイナンバーカードの健康保険証利用について

Q 利便性と課題を示せ。

A 利便性としては、限度額適用認定証の申請手続が不要になることや、本人が同意すれば初めての医療機関でも特定健診情報や今までに使った薬剤情報が医師等と共有できること等がある。
課題は、市内で利用できる医療機関や薬局が少ないことから、利用可能な医療機関等が増えることが必要だと考えている。

その他の質問

- ・子どもの自殺対策について

Q 旭志地区と国道325号沿線の開発について

A 関係部署の連携を強化し、横断的に、総合的に取り組む。



水上 隆光 議員



国道325号(旭志川辺付近)

Q 菊陽町のTSMCを中心とした国道325号沿線の開発は、千載一遇のチャンスであり、市有地を用意すべきと考える。空港にも近い旭志地区や市の発展に繋がると思うがどうか。

A 国道325号周辺は、地元の方々の声を聞きながら、基本的には民間主導による開発を促進していきたい。

本市の人口と宅地について

Q 県内住み続けたいランキングで菊池市が3位に入った。「さあ菊池に家を建てませんか。」と市も議会も訴える時だ。市長は若者、子育て世代へ菊池の宅地をアピールすべきだと思うがどうか。

A 子育て世代に魅力的な環境をつくりていきたいと力を入れてきた。引き続き、全力を挙げて子育て世代への支援を充実していきたい。子育て世代が住みたくなるような魅力的で活力にあふれるまちづくりを進めたい。

その他の質問

- ・工業団地の外灯について

Q 投票率向上のため、移動投票所の導入を

A 現在のところ、期日前投票車の導入は考えていない。



猿渡 美智子 議員



浜田市選挙管理委員会が取り組んでいる公用車を使った「巡回式期日前投票所」

Q 前回の参議院選挙では、菊池市の投票率は5割を切っている。

近年はワゴン車やマイクロバスを投票所にしつらえて地域を回り、期日前投票を行う自治体が増えてきている。

交通弱者の支援になり、市内の3高校を回れば、18歳の投票を促すことにもなる。国政選挙では、経費は国が負担する。本市でも、令和4年の参議院選挙で試験的に導入する考えはないか。

A 特に投票弱者の施策は大事である。高齢者・障がい者・子育て中の方・学生の皆さん、そして働き方など多様化している中で、有権者の皆さんには、べんりカー、あいのりタクシーの有効活用をお願いしたいと考えている。

こうしたことから、選挙管理委員会としては、現在のところ、期日前投票車の導入は考えていない。

その他の質問

- ・児童虐待について
- ・男女共同参画について
- ・携帯電話中継基地局建設について

Q 本市の農業振興の課題と対応策は。

A 安定した農業経営を行うために、法人化に向けた取組を推進する。



緒方 哲郎 議員



菊池公園の十月桜エリア

Q 本市の農業振興の課題と対応策は。

A 農業経営は厳しい状況が続いており、安定した農業経営を行うためには、国や県の各種補助事業の活用が必要である。

また、農業従事者の高齢化と後継者不足に加え、耕作放棄地の増加も懸念している。このため、新規就農者の確保と育成を図ることに加え、個々の農業経営から集落営農組織への展開を図り、さらに法人化に向けた取組を推進することが本市の農業振興を図る上で重要だと認識している。

公園整備について

Q 公園整備の目的と、花房坂公園を多くの方に利用してもらうための『田んぼアート』の考えはないか。

A 公園の設置目的には、市民の健康増進、観光レクリエーション、災害時の一時避難場所等がある。

また、田んぼアートは、本市での実例がなく、場所の設定や耕作者の同意、また、手法や費用等、関係部署等との協議や調整が必要となり、現段階では、他の自治体の事例を参考に、調査研究の必要がある。

その他の質問

- ・ 菊池公園十月桜エリアについて
- ・ 高校の魅力化について

Q 子どもの医療費助成について

A 県への補助要望や国へ制度を創設するよう働きかける。



東 奈津子 議員



ボート競技中の高校生(菊池高校ボート部)

Q 全国では4割を超える自治体が、県内でも6割を超える自治体が、高校3年生までの医療費の無償化を実施している。

菊池市でも無償化の対象を高校3年生までに拡充すべきと思うかどうか。

A 既に高校3年生まで無償化している自治体の状況を注視しながら、検討していきたい。

LGBTQ(性的マイノリティ)について

Q 同性カップルにも、異性カップルが結婚している場合とほぼ同等の権利を認める「パートナーシップ制度」の導入を菊池市でも進めていくべきと思うかどうか。

A 熊本市や大津町の制度導入後の状況を注視しながら、国、県、近隣市町の動向を踏まえた上で検討していきたい。

その他の質問

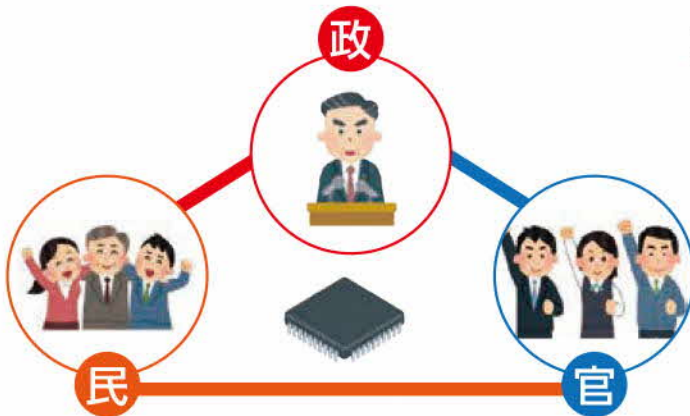
- ・ 「福祉灯油」の実施について

Q 政官民一体の企業誘致プロジェクトチームを発足させてはどうか。

A 各位の協力を得ながら、総力戦で臨んでいきたい。



二ノ文 伸元 議員



Q 台湾半導体TSMC菊陽工場の進出を受け、関連企業等の誘致対策をさせ。

A このチャンスをも市の発展につなげたいという強い思いから、民間開発に連動する形で、住宅・教育環境整備など、関係部署の連携を強化し、庁内横断的、また総合的に取り組むたい。

市長のパワハラについて

Q 現職市長へのパワハラ被害の訴えは、実名、匿名で何件か。

また、労働・人権問題のパワハラや職場環境について、無記名調査等の実施の考えはないか。

第三者委員会設置費用145万円は、一般財源で市民の血税である。市長はどう捉えているか。

A 市長を行為者とする相談受付は1件である。

また、無記名調査等については、今後、必要性を踏まえ、検討していきたいと考えている。

第三者委員会設置については、大変私の不徳のいたすところと感じており、申し訳なく思っている。事実の一つしかないので、第三者委員会で調査いただきたいと考えている。

Q パワハラ告発者への参与の撤回要求はなぜ。

A 身近にある者として救ってやりたいとの気持ちから。



荒木 崇之 議員



1月28日に第三者委員会を設置されました

Q 11月1日に幹部職員から江頭市長が告発されたと11月17日に報道され、報道前の11月15日に告発者へ木村参与が「撤回したらどうか。」と要求しているが、告発を知り得る立場にない参与がなぜ告発者と内容を知っているのか。また、撤回要求の意図は何か。

A 噂が私に入り知った。

やりたいことを市長に理解してもらえない。参与から助言がいただきたくと相談があり、気になってきた。彼の将来も含め、どうしたらいいか私なりに考え、一つの考え方として、一度

リセットしてみたかどうかと言った。身近にある者として、その苦しみを救ってやりたいという気持ちから発言したので、天地に誓って、何も恥じることはないと思っている。

Q 本年6月議会で議員によるパワハラ疑いがあつた時は、早急に職員への調査を行ったが、実名での告発で、これだけ報道されている市長のパワハラ調査は、なぜ行わないのか。

A アンケートや聞き取り等は、今後の状況も踏まえ検討していきたい。

その他の質問

- ・高齢者の免許証返納について

Q 菰入新橋の架け替えによる安全性について

A 地域住民が安心できるよう対策し、開通を行いたい。



福島 英徳 議員



菰入新橋



林原にある元養蚕組合の土地

Q 当初令和4年3月末だった開通予定が、令和4年1月末に2か月も前倒しになったことは喜ばしいことだが、安全対策は間に合うのか。
また、地域住民への説明は十分か。

A 路面表示や交差点付近の減速帯設置等の要望事項は、警察等の関連機関との協議を行い、地域住民が安心できるように対策し、開通を行いたい。
住民への説明が遅れたことは、11月18日に区長へ前倒しの可能性があることと併せて報告を行った。

Q 林原にある元養蚕組合から寄付された土地を競売にかけているとのことだが、その状況は。

A 平成30年度及び本年8月の2回、一般競争入札による売却の公告を行ったが、2回とも入札申込みは無かった。
地積が約1140㎡、価格は不動産鑑定士による評価で予定価格411万円を設定している。

市が保有している施設・土地について

Q エミュー脱走の状況と今後の安全対策について

A 会社側から再発防止に努めるとの報告を受けている。



木下 雄二 議員



逃走したエミュー

Q 脱走したエミューを捕獲するために市職員、消防団等が動員され地元住民にも迷惑をかけたが、詳しい捕獲の状況と今後の会社側の安全対策について。

A 10月7日に54羽中23羽が逃走し、10月10日に全てを捕獲した。
今後は、管理用出入口のセキュリティ強化、センサーの設置、監視カメラの増設、運動場周囲のフェンスの増設等により、再発防止に努めると、会社側から報告を受けた。

小川基金について

Q 故小川水賣氏と御遺族の御理解によって創設された給付型

奨学金教育振興小川基金の申請状況及び内定の状況について。

A これまで30名に総額約1693万円を給付している。
また、本年度は、10月1日より11月15日まで申請受付を行い、現在、選考中である。

キッズハウス
ぴっとについて

Q 老朽化した老人集会場借用により、児童が不便な思いをしている。新設を含めた市の計画は。

A 菊之池小学校の敷地内に放課後児童クラブの開設を決定し、施設の建設を来年度に予定している。

その他の質問

- ・世界かんがい施設遺産サミット熊本の開催について
- ・市職員の市外からの勤務状況について
- ・国道387号沿いの太陽光発電事業について

菊池市議会議員研修会

『効果的な質問・質疑の チェックポイント』について

講師…(株)地方議会総合研究所

代表取締役 廣瀬和彦 氏

概要

1月17日、菊池市議会議員19名が参加し、菊池市議会の議員力を高め、議会の活性化・議会運営能力の向上を図ることにより、議会の改革と地方自治の発展へ導き、本市の豊かな社会の実現と議員のさらなる資質向上を目指し、菊池市役所大会議室において研修会を行いました。



スクリーンやタブレット端末を活用して研修を受講しました。

この研修会は、新型コロナウイルス感染症の急激な拡大により、講師には、急遽、東京からリモートでご講義いただきました。

内容

菊池市における施策や事業の取り組みや進捗状況・実施時期・方針・予定だけを確認する質問をして、その答弁を聞いて納得して終わってしまうのではなく、議員自身の考えについて、住民の意見を踏まえて述べる事が大切である。

日々の議員活動で得た住民の意見要望や自らの調査等をできるだけ多く取り上げ、限られた時間であれもこれも聞こうとすると、一般質問が広く浅くなってしまうため、その時の定例会でこそ取り上げる必要のある質問事項を選別することが大切である。

議員として、政治信条や市政等に対する強い思いを持つことは大事だが、それだけを一般質問で述べるのは一方通行の議論となってしまうため、具体的な問題点を指摘しながら、それをどう解決すべきなのかを議論する場が一般質問である。

こうしたこと等を具体的に列挙されながら、説明がありました。

まとめ

一般質問は、市政全般を住民の代表として、議員が大局的な観点から、建設的な意見を執行機関との間で議論する場である。

議員として総合計画や行政評価等も踏まえ問題点を指摘し、その課題を発展させることが、議会、議員の資質向上に繋がるといふことであった。

また、一般質問で事業・施策を提言する際に、予算は限られていることから、議員として、どの施策を廃止、または縮小し、予算措置をどのようにするのか、具体的に提案しなければならぬということであった。

質問 委員会質問を行っている議会があるということだが、取り入れている議会では一般質問の一環として行っているのか、全く別で行っているのか。

回答 一般質問の一環として、委員長が委員会を代表して行っている。

所管事務調査に基づく委員会報告書をもとに市の姿勢をただし、議会の政策提案能力を高める狙いがある。



議会傍聴をお待ちしています！

定例会は、原則として3月・6月・9月・12月に開かれ、行政に対する一般質問も行います。

日程や一般質問者等の詳細は、議事事務局にお尋ねください。また、3階の議場の傍聴席はバリアフリー対応となっておりますので、本庁1階のエレベーターで3階までお越しくください。皆様のお越しをお待ちしております。なお、各支所でも生中継でご覧いただけます。

※新型コロナウイルス感染症対策のため、入場に制限がある場合があります。



3月定例会は2月18日(金)に開会しました。

令和4年 第1回菊池市議会定例会日程の予定

月日	区分	日 程
2月18日	本会議	開会・開議・会期の決定 議案上程・提案理由説明
(2月19～23日 休会)		
2月24日	本会議 委員会	質疑・委員会付託 予算決算常任委員会
2月25日	本会議	一般質問
(2月26～27日 休会)		
2月28日 3月2日	本会議	一般質問
3月3日 3月4日	委員会	常任委員会・予算決算分科会 (総務文教・福祉厚生・経済建設)
(3月5～6日 休会)		
3月7日 3月8日	委員会	常任委員会・予算決算分科会 (総務文教・福祉厚生・経済建設)
(3月9～14日 休会)		
3月15日	委員会	予算決算常任委員会
(3月16～17日 休会)		
3月18日	本会議	委員長報告・質疑・討論・採決 閉会

※この予定は、会期中に変更になる場合があります。

議長交際費を公表します

議長交際費の令和3年11月1日から令和4年1月31日までの支出状況を公表します。議長交際費は、議長が市議会を代表して対外的な活動をするために必要な経費として認められており、その支出にあたっては、社会通念上妥当と思われる範囲内にとどめるよう努めています。

交際費の項目	件数	金額
会費（公的性格を有する団体との協議会費および負担金）	0 件	0 円
その他（他自治体への研修、および議長会等経費）	2 件	8,335 円
計	2 件	8,335 円

正しい
マスクの着用で
感染症対策



©2010 熊本県くまモン

節分 特集



議会広報特別委員会では、市民の皆さまが笑顔になって、元気になってもらいたいと考え、今回は市内の『節分』取材しました。

節分には、「みんなが健康で幸せに過ごせますように」という意味を込めて豆まきをしたり、その年の恵方に向けて願い事を思いながら恵方巻を食べたりしますが、早くコロナが終息することを願うばかりです。

峇保育園



第2さくら幼稚園



よかところ泗水



寿会館



編集後記

昨年も全国各地で自然災害が多発し、近年の気候危機の深刻さを痛感しました。

そんな中、今年に入り、この問題に取り組む若者を取り上げたテレビ番組を観ました。

昨年11月、イギリス・グラスゴーで開かれた温暖化対策の国際会議COP26に日本から参加した若者たち。「気温上昇を抑えなければ自分たちの未来はない！」と真剣に問題に向き合う若者世代の姿に、今を生きる大人として、一政治家として私自身も真剣にこの問題に取り組んでいきたいと改めて思いました。

東 奈津子

■議会広報特別委員会■

委員長 / 東 奈津子
委員 / 福島 英徳

副委員長 / 田中 教之
猿渡美智子 工藤圭一郎 泉田栄一郎